

**ACT JAPAN**

# 年次ミーティング 2022

論より証拠！データと語ろうACTの実践と研究

< 第1号通信 >

2022年11月 配信

# 01

## 大会テーマ

### 論より証拠！データと語ろうACTの実践と研究

文脈的行動科学の世界は、ACTや心理的柔軟性モデルから、機能的文脈主義、そして、行動分析学やRFTまで、非常に魅力的な考え方で溢れています。コミュニティもオープンで、コンパッションに溢れていて、活力に満ちています。

**まさに「ACTって素敵やん！」なのです。**

ただ、あまりに魅力に溢れているため、語ることのみで強化されてしまうような、ある種の自己満足の随伴性に陥るリスクもあるのではないのでしょうか？

(というか、すでにハマっていないだろうか・・・？ドキッ!?)

我々が科学的・専門的準拠集団として、本会の目的を達成するためには、

**「論（語る）」だけでなく「証拠（データ）」が必要不可欠です！**

地道に謙虚にコツコツとデータを集め、科学的エビデンスを積み上げ、文脈的行動科学の世界を前進させる、これが我々の使命です。

そこで、本大会のテーマをこのように設定してみました。

データを集め、それに基づきながら、我々の実践と研究のさらなる発展を目指し、この素晴らしいコミュニティでの相互作用を活性化させていきましょう！

2022年度 年次ミーティング開催責任者 大月 友（早稲田大学）

# 02

## 大会概要

### 日時・開催方法

### 参加費

#### 日時：

2023年3月18日（土）・19日（日）

#### 開催方法：

ハイブリット開催（対面/オンライン）

◇会場 [対面]=早稲田大学

早稲田キャンパス14号館

（東京都新宿区西早稲田1-6）

◆オンライン=Zoom ウェビナー（予定）

会員（会場：対面） 無料

会員（オンライン） 無料

非会員（会場：対面） 4,000円

非会員（オンライン） 4,000円

学生（会場：対面） 無料

学生（オンライン） 無料

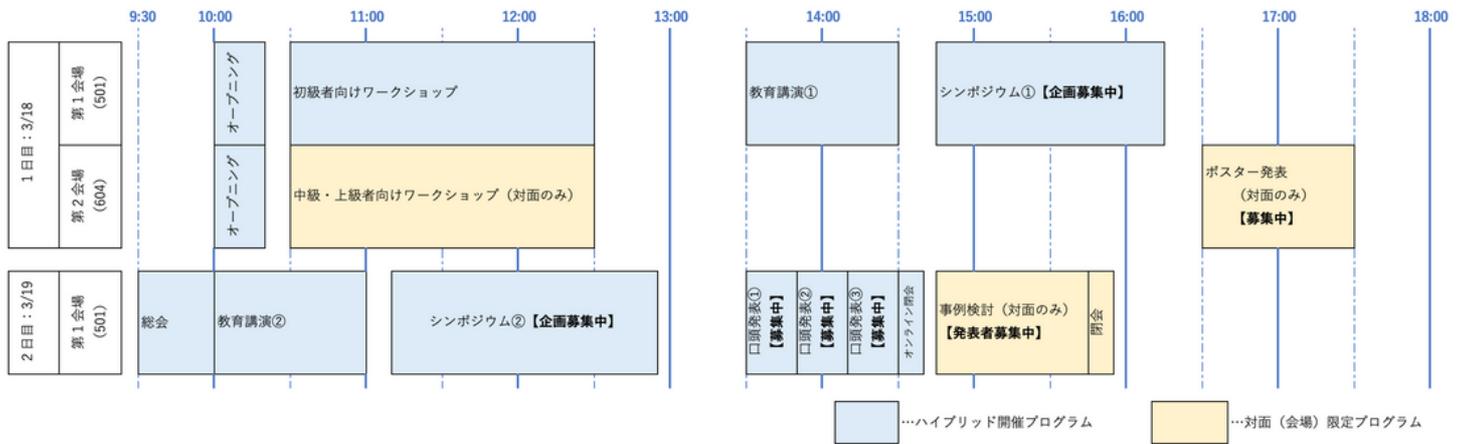
※全員申し込みは必要になります

※会員区分でのお申し込みには、今年度の学会年会費の納入が必要です

※参加登録（申込）は2023年1月中旬開始予定

03

## プログラム（予定）



### <ハイブリッド>

- 初級者向けワークショップ
- 教育講演
- シンポジウム
- 口頭発表（学術発表/情報交換）

### <会場（対面）限定>

- 中級・上級者向けワークショップ
- 事例検討
- ポスター発表（学術発表/情報交換）

\*ハイブリッドプログラムはオンラインで参加できます

04

## 演題募集 / 発表申込

※絶賛募集中※

自主シンポジウム : ~2023年1月15日（日）

事例発表・口頭発表 : ~2023年1月31日（火）

ポスター発表 : ~2023年2月12日（日）

次ページの申込要領をご確認の上webから申し込みください

web申込 →



<https://forms.gle/awQ5ma8zAVtuFAec7>

\*一般参加のお申し込みは2023年1月中旬スタートの予定です。

# 05 申込要領

## 自主シンポジウム

自主シンポジウムは90分枠です。企画者は ACT Japan の会員に限ります。ハイブリッド（対面/オンライン）で実施しますので、登壇者は会場（対面）参加でもオンライン参加でも、どちらでも可能です。自主シンポジウムの企画を申し込む際は、以下の内容をご作成の上web申込をお願いいたします。応募多数の場合は、大会準備委員会による審査によって採否を決定いたします。

- (1) 自主シンポジウムの企画名
- (2) 企画者、司会者、話題提供者、指定討論者  
(それぞれの氏名、所属、会員/非会員)
- (3) 800字以内の企画概要  
※オンライン配信もあるため事例発表は不可

## 事例発表

対面事例検討会の事例発表者を募集します。発表者は ACT Japan の会員に限ります。会場（対面）での発表のみとなります。以下の内容をご確認のうえ、web申込をお願いします。

- (1) ACT に基づく個人セッションか、集団による介入かは問いません。他の学会および学会誌等で公表したものでかまいません。
- (2) クライアントおよび所属機関から発表同意が得られているなど、一般的な倫理的手続きを経ている必要があります。さらに、クライアントの希望に合わせて必要ならば個人情報に関する映像や音声を消去・加工するなど、可能な限り個人情報の保護に努めてください。場合によっては、発表をご辞退いただくこともございますので、予めご了承くださいませようお願いします。
- (3) 事例検討は、発表時間は30分、質疑応答、ディスカッションの時間は30分程度です。
- (4) 発表の応募については、事務局により選考させていただきます。

※web申込とは別に、発表内容の概要（800字以内）をご送付いただきます。詳細はweb申込画面でご確認ください。

## 口頭発表

口頭発表は、発表15分・質疑応答5分の20分枠です。発表者は ACT Japan の会員に限ります。ハイブリッド（対面/オンライン）で実施しますので、発表者は会場（対面）参加でもオンライン参加でも、どちらでも可能です。口頭発表には「学術発表」と「情報交換」の2タイプあります（※1）。口頭発表を申し込む際は、以下の内容をご作成の上web申込をお願いいたします。

- (1) 口頭発表の演題名
- (2) 発表者氏名、所属、会員/非会員
- (3) 400字以内の要旨  
※オンライン配信もあるため事例発表は不可

## ポスター発表

ポスター発表は、会場（対面）で実施します。発表在籍時間は60分です。筆頭発表者は ACT Japan の会員に限ります。会場（対面）での発表のみとなります。ポスター発表には「学術発表」と「情報交換」の2タイプあります（※1）。対面のみのため、事例発表等も可能です。ポスター発表を申し込む際は、以下の内容をご作成の上web申込をお願いいたします。

- (1) ポスター発表の演題名
- (2) 筆頭発表者、共同発表者  
(それぞれの氏名、所属、会員/非会員)
- (3) 400字以内の要旨

### ※1 口頭発表/ポスター発表の2タイプ

**学術発表：**原則として研究の目的・方法・結果・考察・引用文献などの項目に分けて記述し、「科学論文の要件」を満たした発表が該当します。ポスター発表の場合は、事例研究も可能です。演題の採否は、事前に提出された発表要旨に対する大会準備委員会による審査によって決定いたします。

**情報交換：**他学会等での発表済みの内容、研究計画、実践報告、作成したメタファー・エクササイズ・プログラムの紹介など、自由な内容の発表が該当します。以前別の学会で発表したが ACT Japan 会員からも意見を貰いたい、新しい研究のアイデアがありディスカッションしたい、面白い情報/アイデアを持っているので披露したいなど、自由な形式にてご発表いただけます。情報交換での発表の場合は、研究業績とはなりませんのでご注意ください。

※絶賛大募集中※

web申込はこちらから→



<https://forms.gle/awQSma8zAVtuFAec7>

# 2022



## ACT JAPAN

### STAFF

事務局長	井上和哉（早稲田大学）
準備委員	岩澤直子（早稲田大学大学院） 小口真奈（早稲田大学大学院） 姜 来娜（早稲田大学大学院）
開催責任者	大月 友（早稲田大学）

お問合せ：ACT JAPAN年次ミーティング2022運営事務局

[actjapan2022meeting@gmail.com](mailto:actjapan2022meeting@gmail.com)